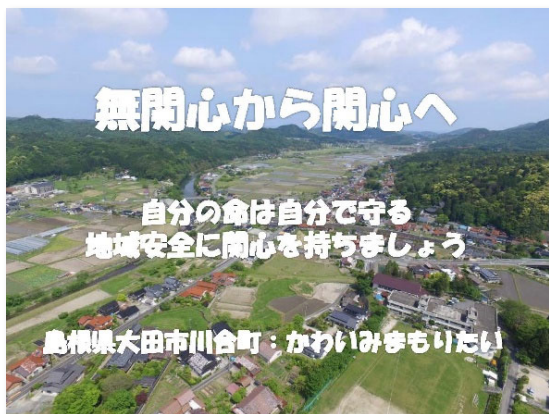


## かわいみまもりたい（島根県）

こんにちは。島根県のかわいみまもりたい会長の松井です。発表させていただきます。足がしびれて悪いので、座ってご説明をさせていただきます。無関心から関心へ、川合の地域防犯街づくりということで発表をいたします。



無関心から関心へ、自分の命は自分で守る、地域安全に関心を持ちましょう。かわいみまもりたいの防犯ボランティア見守り活動です。

自分たちの地域は自分たちで守る。地域住民が相互に助け合い、安全安心な住みよい地域づくりを進める。犯罪のない安心安全な街づくりということです。



2. 団体について  
かわいみまもりたいの発足・組織・会員

Q かわいみまもりたいの発足は？

A 発足は、平成16年7月1日です。地域の、子どもや高齢者を、犯罪から守る見守り活動で、明るいまちづくりを目指して活動を行なっています。

Q 組織・会員等については？

A 川合町民全員で組織し、全員が会員となっています。886世帯・1,795人です。(令和4年4月1日現在)  
みまもりたい代議員 91名(A-②)  
◎青色防犯パトロール隊 30台 資力者 40名  
◎スクールガード 16名

地域について説明をいたします。大田市川合町の位置ですが、島根県のほぼ中央です。今年4月1日現在ですが、概要としては面積436.1km<sup>2</sup>、人口3万3039名、高齢化率は他市と同じく40.75%になります。また川合町の概要については、34.5km<sup>2</sup>、人口1795名、高齢化率は大田市よりも高く43.35%です。

団体についてです。かわいみまもりたいの発足、組織、会員です。かわいみまもりたいの発足は、平成16年7月1日です。地域の子供、高齢者、犯罪から守る見守り活動で、明るい街づくりを目指すという活動を行っております。組織、会員ですが、川合町全住民が会員です。生まれたての赤ちゃんから高齢者までです。886世帯、1795名です。今年の4月1日現在です。みまもりたいの組織で代議員は91

名です。青色防犯パトロール隊、車両は30台、有資格者は40名です。スクールガードは16名。この30台のうち、4名は2台を保有しております。乗用車と軽トラック、あるいは軽自動車と普通車といった割合です。

**A-2**  
**かわいみまもりたいの代議員 91名**  
(順不同)

川合まちづくりセンター長、川合小学校PTA会長・副会長、大田第一中学校PTA川合代表、地域安全推進員、少年輔導委員、民生児童委員、主任児童委員、川合町自治会連合会、川合町各地区自治会長、みまもりたい青パ外隊、国会議員、大田市議、スクールガード、消防団川合分団長、川合小学校校長、大田第一中学校校長、川合保育園園長、川合保育園保護者代表、大田市社会福祉事業理事、藤井園園長、清風園園長、すずらん川合施設長、川合郵便局長、川合球友会バース、川合商工振興会会長、交安協川合支部長、JA女性部川合支部長、老人会長、川合町体育協会会長・副会長、保護司、川合まちづくりセンター運営委員、川合地区社会福祉協議会職員、中央ブロックまちづくり委員、大田市包括支援センター川合担当者、川合まちづくりセンター職員、大田警察署川合駐在所

各団体・組織等の代表者が代議員

**3. 活動内容について**

Q みまもりたいの活動は？ A 活動の4本柱として

- 1. 子どもを守る活動** (子ども達は、地域の後継者です)  
多発する、多種多様な被害から子どもを守る。
- 2. 高齢者を守る活動** (高齢者は、地域の先輩です)  
(併せて、はつらつ事業：交通事故から高齢者を守る運動)  
家の中から戸外に出て、人々と顔を合わせる。
- 3. 犯罪発生抑止活動** (挨拶のみまもり声掛け運動)  
犯罪情勢は、都会も地方も関係なく発生しています。  
人々の姿、多くの目でのみまもりが抑止活動につながる。
- 4. 明るいまちづくり運動** (三分鐘の、住みよい地域・明るい街づくり)  
一戸一灯運動で、犯罪抑止を行なう。

犯罪のない安全安心なまちづくりを進める

みまもりたい代議員、広くおられます。それぞれの団体が代議員ということです。

みまもりたいの活動は4本柱で、子供を守る活動、子供たちは地域の後継者です。多発する多種多様な事案から子供たちを守る。2番目、高齢者を守る活動、高齢者は地元の先輩です、地域の先輩です。併せて、はつらつ事業、指定されておりました。交通事故から高齢者を守る運動ということで、高齢者も家の中から戸外に出て人々と顔を合わせ、元気いいなということです。3つ目、犯罪発生抑止活動、地域で見守る声掛け運動、おはよう、こんにちは、お帰りなさいと。犯罪情勢は、都会も地方も関係なく発生しています。人々の姿、多くの目で見守り活動を行うと犯罪の抑止活動につながります。4つ目、明るい街づくり運動、自分たちの住みよい地域、明るい街づくりは自分たちで行うと。一戸一灯運動で犯罪抑止活動を行う。こういった活動が防犯に対する意識の改革を図るということです。そして犯罪のない安心安全なまちづくりを進めるということです。

Q 具体的にどのような活動をしているか？

A 日々のみまもり活動の他に、重点的に取り組む活動は…

- ①『青少年健全育成活動』『明るいまちづくり運動』として、毎年夏休みに自然に親しむ『かわい川の川遊び大会』を開催して、園児・児童・中学生・ヤマメ・ウナギの掴み取りと川に住む生物観察を行なう。27回開催。
- ②『みまもり中』啓発のぼり旗 約250本・みまもり啓発看板 約30枚・イルミネーション(3m×11m) 1基を川合町内に設置しています。
- ③毎年、小学校5年生の『地域安全防犯マップづくり』(平成19年から授業時間に組込んで実施している)の指導と安全監視を行なう。
- ④『カーブミラー清掃』毎年、小学校6年生が行う。指導と安全監視を行なう。
- ⑤毎年12月に、青色防犯パトロール隊の『年末年始特別パトロール出発式』及び町内パトロール、『園児・児童の1日青パト隊長任命式』を行なう。
- ⑥街頭防犯カメラの設置促進活動(R4.4現在6ヶ所6台設置)
  - ・大田市の第2号として川合町に1基設置。
  - ・自治会が2基設置。・大田市消防団川合分団の消防格納庫に3基設置。

具体的にどのような活動をしているかといいますと、①として、日々の見守り活動の他に青少年健全育成活動、明るいまちづくり運動として、夏休み、自然に親しむかわいの川遊びということで、園児から中学生まで、アユ、ヤマメ、ウナギ等のつかみ取りと、川に住む生物観察を行っております。昨年で27回開催しております。2つ目には、見守りの啓発のぼり旗250本、見守りの啓発看板約30枚、そして、3m×11mのイルミネーション1基を川合町内に設置しています。警察の署長さん、代わって来られますと、見守りの方が多いなという感想を持たれております。

そして毎年、力を入れているのが、小学校5年生の地域安全マップづくりです。平成19年から、大田市でもまれ、島根県でもまれだと思いますが、授業の項目、科目に組み込んで実施しております。大体、半日プラス事前の説明で1時間といった時間を押さえてもらって、自分たちの安全安心な、身を守る勉強を行っております。そしてカーブミラーの清掃。6年間お世話になったということで、6年生が感謝の気持ちを込めてカーブミラーの清掃を行っております。こういった活動に対して、みまもりたいが指導と監視を行っております。そして、もう1つ、毎年12月に青色防犯パトロール隊の年末年始特別パトロール出発式、そして児童、園児の1日青パト隊長任命式を行っております。そして6

つ目には、各地区でも増えておりますが、街頭の防犯カメラの設置促進活動です。現在は6カ所、6台しかありませんが、これから順次、増やしていこうという計画を立てております。

Q 具体的にどのような活動をしているか？

A ①『青少年健全育成活動』『明るいまちづくり運動』として、毎年夏休みに『自然に親しむ『かわい』の川遊び大会』を開催して、園児・児童・中学生と鮎・ヤマメ・ウナギの網み取りと川に住む生物観察を行なう。27回開催。

鮎	600匹	ウナギ	15匹
ヤマメ	200匹		

② 街頭防犯啓発活動のぼり旗

イルミネーション (3m×11m)

みまもり中

毎月18日 川合町 安全の日

R375号に設置

夜間はPM6:00～9:00点灯

啓発看板

R375号交差点に設置

具体的には青少年健全育成活動、川遊び大会ですが、アユ 600 匹、ヤマメ 200 匹、ウナギ 15 匹を放流して、園児から中学生まで取ると、つかみ取りをします。そして後半の 20～30 分では大人も一緒に入るという活動を行っております。当初は 700 匹おりましたが、物価高騰の折、600 匹に減少しております。

そして啓発活動です。こういったのぼり旗、そして国道に掲げております。そしてこれが 3m 掛ける 11m の、見守りのイルミネーションです。昼間は白い看板です。夜間は、こういった赤と緑の枠組みの看板になります。おおむね 6 時から 9 時、啓発時間はもう少し遅くまでということになります。そして啓発看板として、見守り中の看板、あるいは隣には自主防災組織の看板も一緒に掲載しております。そして、これは川合小学校児童の挨拶運動の啓発看板です。

啓発看板

イ 歩行者にも車両にも注意喚起

カーブで見通しの悪い場所

ロ 河川及びため池等の危険な場所の注意喚起

子ども達の近づきそうな場所

この市道には10枚設置

町内8ヶ所に設置

◇石見銀山遺跡の世界遺産登録に伴い、観光バス及び車両の通行が増えたため。

◇川へ魚釣りに行く子ども達が多くなったため。

③『命を守る学習』として地域安全防犯マップづくりを行なっています。

《平成19年から、授業に組み込んで行なっています》

AM8:00～12:00

毎年、5年生が行なう(物部神社周辺)

指導者:警察2名+13名

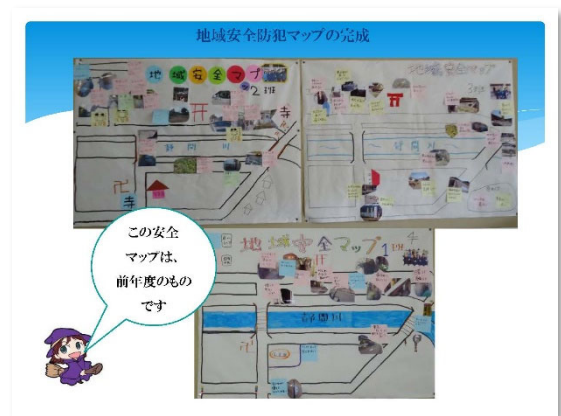
事前学習

街頭での調査

街頭での質問

そして見守りには関係ないかもしれませんが、どちらかという、交通安全協会のほうになると思いますが、カーブが多いところでは一番最初に、『みまもり中』ということで、カーブの注意看板、あるいは児童、園児が遊ぶのに危険な場所の看板、そういったものを設置しております。安協があまり銭がないということで、みまもりたいも銭がありませんが、多少なりとも協力していくということです。

そして先ほど言いました、授業に組み込んでいる、命を守る学習としての地域安全マップづくり、事前学習を行います。そして、街頭で調査をします。そして質問を行います。人がなかなか出てきませんが、そういった中でも、ごめんなさい、ちょっと協力してくださいということで、家の人を外へ呼び出して、質問を受けてもらうということもやっております。



そして、これが学校へ帰ってからのコメント、あるいは写真を切り抜いて貼っております。そして最後に全員がひと言ずつでも、ふた言でも発表するということを行っております。これにみまもりたいが、先ほど言いましたように、指導と街頭での監視等々を行っております。

そして、これは昨年度のものでございます。長く継続するというのが、褒めてあげたいなというところがございます。



そしてカーブミラーの清掃、6年間お世話になりました。そして、これが防犯カメラ。これは防犯協力隊に設置していただきました。そして、これは珍しく消防団の格納庫に設置してあります。消防団、金銭不足しておりますが、大田市防犯協力会から助成を受けまして、設置をしております。他の町にはないことであります。課題とか進んでやっているところで、少しながらも手本にしてもらえたらというところがございます。

そして、これが年末年始の特別パトロール出発式と1日青パト隊長任命式です。こういったように事前には警察の署長さん、交通課長さん、生活安全課長さんに講義をしていただいて、その後、任命式を行います。そして青パト隊長の訓示です。そして終わったら町内のパトロールに出発をしていきます。

Q 青色防犯パトロール隊等について

A 青色防犯パトロール隊に関する手続きは全て事務局で対応します。

(1) 青色防犯パトロール隊

- ① 青色防犯パトロール車 30台・有資格者は40名です。講習会の実施。
- ② パトロールの頻度は活動計画に基づき、各々週1回位。
- ③ パトロールは強制しない。隊員の意思に任せる。
- ④ 緊急時等の特別パトロールは別途連絡する。



(2) その他車両(みまもり中のステッカー貼付)

- ① 一般車両 50台  
人の目と、車両による啓発活動を行なうことによって不審者の犯罪抑止に繋がる
- ② 福祉施設等車両 42台  
高齢者に対するみまもりで、健康と安心安全と不審者の犯罪抑止に繋がる
- ③ 学校給食センター配送車 9台  
学校給食配送時途上、及び学校周辺の不審者の犯罪抑止に繋がる



(3) 町かどみまもり表

合同 4 年度  
かわいみまもりたい 町かどみまもり表

町かどみまもり表は、青パト隊・スクールガード・小学校・関係者等に配布します。

日	時間	内容
4月	18時00分 - 19時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
5月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
6月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
7月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
8月	28日(日) 22時00分 - 23時00分	22時00分 町かどみまもり表の配布
9月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
10月	17日(日) 09時	17日(日) 09時 町かどみまもり表の配布
11月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
12月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
1月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
2月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布
3月	18時00分	18時00分 町かどみまもり表の配布

※活動は、派手な一発の大きな花火より、小さくとも長く続く手ボタン花火のように継続することです。

そして青色の防犯パトロール隊です。届出等の手続きは全て事務局で対応しております。先ほど言いました、パトロール車 30 台、有資格者 40 名です。そして 3 年ごとの講習会の実施。そして、パトロールの頻度、週 1 回、定期的なパトロールを行っております。そして、その他は強制しておりません。隊員の意思に任せております。また、緊急時には特別パトロールということで、別途連絡して出動をしてもらっております。その他、一般車両に小さなこういう、見えにくいんですが、『みまもり中』というステッカーを貼って走っております。こういったことをすることによって、人々の監視の目につながり、不審者の犯罪抑止、防止につながるというところがございます。そして、隊ではないところですが、社会福祉施設の車両にこの看板を、ステッカーを付けて走ってもらっています。これも前と同じです。そして学校の給食配送車 9 台にも、『みまもり中』のステッカーを付けております。

これは毎年、年度始めに配っております、かわいみまもりたいの『町かどみまもり表』です。青パト隊、スクールガード、小学校、関係者等に配布しております。この他に夏休み、毎週金曜日、7 月の夏休み始まってから終わるまで、毎週金曜日には夜間パトロールを実施しています。なかなか他の地域ではありませんが、川合は共に継続していくということです。

4. 日々の活動について

Q どのような活動をしているか？

A 日々の『みまもり』と『毎月15日・川合町安全の日』と定めて活動を行なう。

- ① 通学路・交差点で、子ども達の安全みまもりを行なう。
- ② 「おはよう」「おかえり」の、声かけ運動を行なう。
- ③ 『一灯一灯運動』で、夕方に外灯や門灯、玄関や道路側の部屋の電灯を点灯して、安心の灯り、安全の道標としての運動を行なう。
- ④ 毎月15日の午後5時から、中学生・高校生に自転車通学の指導と下校時のみまもり活動を行なう。
- ⑤ 川合小学校の毎学期始めに、スクールガードによる集団下校の引率・指導(平成17年開始)を行なう。青パト車も巡回して看視を行なう。事前の推進会議。
- ⑥ その他、関係する活動を必要に応じて行なう。

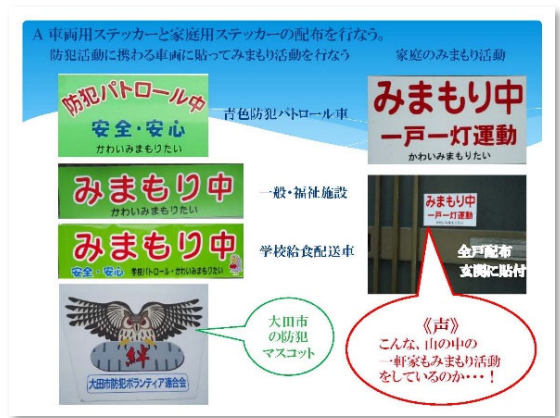


\*活動は、派手な一発の大きな花火より、小さくとも長く続く手ボタン花火のように継続することです。



日々の活動、どのようなところで、毎月 15 日、川合町安全の日と定めて活動を行っております。あとは一戸一灯運動ということで、道路に面した外灯、門灯、あるいは部屋の電灯をつけて、夜遅く帰る子供の生徒、児童に安心安全の、灯台といいますか、そういったことで明るく照らして、少しでも安心をさせるという活動を行っております。そして、毎月 15 日には自転車通学の指導ということで、中学生、高校生に自転車指導を行っております。そして集団下校引率をしております、スクールガードが。そういったことで川合町挙げて、児童の、

生徒の安心安全な通学路の確保ということで行っております。活動、派手な 1 発の花火を打ち上げることは楽しいことです。小さくとも長く続く手ボタン花火のような活動が望ましいのではないかと思います。ここで、夜間パトロールをしておるときに目の前で死亡事故が発生しました。どんという音がして、車が、きききっ、20m滑って止まりました。70 代の高齢者が亡くなりました。



その他の活動ということでは、毎学期初め、集団下校の引率などを行っております。先ほど言いました、夏休みの夜間パトロール、そして、みまもり健康ウォーク、青少年健全育成活動、明るいまちづくり運動ということで、自分の体を鍛えるために5キロから6キロ、あるいは7キロ歩いております。そして小学校の児童、青少年健全育成ということで、こいのぼりの掲揚を毎年行っております。もう35年続けております。

そして、こういったステッカーを貼って啓発活動を行っております。声としては、宅急便の人が山奥の一軒家に来て、こんな山の中の一軒家でも見守り活動しているのですか、そうですよということで末端まで浸透させるというところでございます。

5. 課題について  
Q 課題は?  
A 活動資金の確保が課題で、各種の助成金・補助金に頼るしかありません。色々考えましたが、一つの例として奥の手は飲み会を開催して会費を高くして残金を資金にすることです。各世帯からの会費も検討しましたが、諸活動に対する過剰な負担を強いられることも窺われないと判断して取止めました。

(一例として)

残金を会に寄付する → 活動費に回す

【実際には、事前に周知をしていますので皆さん賛同されます】  
【割り勘の場合は、端数は切り上げて集金する。残金を寄付する】

6. 課題の解決に向けた取組方針について

普段から市の防犯協会等、他の団体との連携を密にし、各種活動への理解賛同を深める働きかけを行い、活動資金の支援を受ける土壌を築いています。『かわいみまもりたい』は大田市はもとより全県的に、防犯活動の「町」川合町の防犯ボランティア活動団体として認識されています。

川合町の皆さんも、以前より防犯意識が高まりました。川合小学校児童との融合いで、以前にも増して関心を持つようになり、お互いに顔が見える関係です。こうした活動を、次世代・次々世代につないで継続していくことが大事です。

私たちの活動は、他組織・団体等と何ら遜色のない活動ですが、要は、将来のある子ども達の成長を願い、高齢者を始めとして地域に暮らす皆が安心して安全に暮らせる『明るいまちづくり運動』を進めるために、『自分たちの地域は自分たちで守る』と云う、地域住民による「自主防犯対策」の一環として、一人一人が自主的に防犯ボランティア活動を行なっているのが現状です。

※ 活動に係る財源については、関係機関からの助成金・補助金が頼りです。財源は、活動にとっては頼みの綱ですが、財源不足も活動の一環として捉えて考えれば、個々の善意を信じて活動するのみです。

● 毎年の総会或いは研修会においても、活動に対する意識と周知を図り活動の継続の大切さを浸透させています。

課題、資金がありません。皆さんはどうか分かりませんが、活動資金が不足しております。補助もいただいておりますが、そういった中で少しでも何かならないかということで、一つの例としては、飲み会を行ったときに会費4千円で上げるところを5千円徴収して、集金して、1千円はみまもりたいに回すというようなこともやっておりましたが、これもコロナで当分できないということで、どうしたらいいかなという頭をひねっておるという状況です。

そして今後の課題ですが、長々、答えておりますが、要は、自分たちの地域は自分たちで守るという、地域住民による自主防犯対策の一環として、防犯ボランティア活動を行っているのが現状です。活動に係る財源については、関係機関からの助成金、補助金で賄っておりますが、活動にとっては頼みの綱である財源不足はどうしたものかということで、いつも頭を悩ませていますが、皆さんがた個々の善意を信じて、少しでも集めて活動をしておるというところでございます。

## ま と め

一つ言えることは、こうした地域活動は地道に  
そして長く継続することが大事なことであり  
共に、

**地域で育み、  
地域に密着して、  
地域に根付いたもの**

であると考えています。

## 安全安心の樹

活動は枝分かれています、安全安心という根は一つです。

まとめとして1つ言えることは、こうした地域活動、地道に、そして長く継続することが大事なことであり、同時に、地域で育み、地域に密着して、地域に根付いたものであると考えています。

防火、防災、防犯、交通安全、安全安心の木ということで、根本は1つです。ただ枝分かれをしてそれぞれの組織、あるいは、事業所等々、個人、個人の活動をしているというところでございます。続けていくということが大切ではないかと思えます。地道に続けて、一步一步階段を上がるということも必要ですので、一気に大きな花火を打ち上げて活動することは誰でもできると思えますが、地道に続けるということが大事なことではないかと思えます。

## 継 続 は 力 な り

かわいみまもりたいは  
華々しい活動はできませんが  
細く長く地道に活動を継続していきます

=何はともあれ、安全安心な地域を願うものです=  
ご清聴、ありがとうございました。

## お わ り

皆さん、不審者には気を付けましょう。

皆さん、交通事故に気を付けましょう。

そういったことで、かわいみまもりたい、華々しい活動はできませんが、細く長く地道に活動を啓発、継続していきます。何はともあれ安全安心な地域を願っております。こうした中において力を入れておりますのが、先ほどから言っておりますように児童の安全マップづくり、これは授業時間に組み込んでもらっています。同じ島根県を探しても、川合小学校以外には見当たりません。自主防災会も立ち上げて活動しておりますが、この中においても、川合だけです、川合小学校だけです。先生がたには頭が下がるなというところがございます。そしてもう1つ言えるのが、それもリーダーやっております、小学校7校に防災安全クラブというものを立ち上げてもらっております。この防災の災は、先ほど言いましたように、防火、防災、防犯、交通安全、あらゆる災いから子供たち、地域を守るということで、子供のときから植え付けるということで、防災安全クラブで活動しているというところでございます。

終わりですが、皆さん、不審者に気を付けましょう。皆さん、交通事故に気を付けましょう。100歳まで生きましょう。安全安心にということでございます。ありがとうございました。

## 講評

**吉中** どうもありがとうございました。今日の話で私、本当に地道な活動の大切さというのを、改めて私自身も再認識させていただきました。花火の話も交えながら、大きな花火、打ち上げ花火を打ち上げても、それ以降、全然活動がないのは駄目だという。打ち上げ花火じゃなくても、小さくとも長く続く活動という視点から、長く本当に地域一体となった活動を続けておられることが、お話を伺ってよく分かりました。

かわいみまもりたいさんのご活動の中で印象に残っておりますのが、まず学校等において、あるいはPTAも関与されているのかもしれませんが、川合小学校から安全マップ作り、授業の中に組み込んでされていること、大変素晴らしいことだと思います。この安全マップ作りというのは、実は広島でも昔からやっているんですけれども、だんだんとこれが廃れていくといいますか、作らなくなってしまったりというところ、中にはあるんですけれども。こういう学校の活動と組み合わせ、ずっと長くされているというのは、本当に素晴らしいことだと、これからもぜひ続けていっていただきたいなというふうに思います。

それから2つ目としまして、地域の特徴を生かした活動なんじゃないかなと思います。まず私自身、注目して伺っていたんですけど、かわいの川遊び大会、夏休みに行われる。私自身、川合町に伺ったことはないですけど、川が流れていて、そこにみんなが集っているんですね。アユとヤマメとか、ウナギのつかみ取りとか川の生き物観察を通して生命、命の大切さとかであるとか、失われつつある自然と、美しいとか集うということで、そういうその場という、日本の昔からある田舎の風景の中で自然に触れながら、こういう工夫、防犯もそうですし、防災もそうです。町に関心を向けた街づくりをしていくと、1つイベントとしてされている、これもすごく、すごいことだと思います。人が集まる場、場所、これを意識的にしっかりと維持されている。今、日本社会の中では伝統社会の中では、祭りであるとか伝統芸能、伝統文化というものが失われてしまわれていた。これを、いまさらながら大切なものとして、私自身も感じさせていただきました。

あと、ちょっと驚いたのは、青パト、台数の多さと、それから隊員の多さという箇所です。これは30台、それから隊員40名というのは、かなり車の台数、それから、隊員の数としても充実しているほうじゃないかなというふうに思います。中には青パトの維持とか管理に非常にコストがかかるんでということで、難しいんだというふうに声をよく聞くんなんですけれども、その辺りも維持されていると。しかもパトロールも週に1回は行っているけれども、それ以外では毎日、自主性に任せるところもあるというように、さまざまな配慮が行き届いているなというふうに思います。

こういった地道な活動を、今後もぜひ続けていっていただきたいんですけども。課題として挙げられてございました、この活動資金の問題、これは本当にどこの活動でも共通の悩みとなっています。例えば、青パトの車体とかボディーにどこか会社、企業、スーパー等のいわゆるCSR活動みたいなものの一環として、広告をちょっと載せてくれないかという形で。これは地道にお願いしていかないといけない、地元のスーパーさんとかにお願いされているのもあるんですけれども、そういった形で定期、一定の収入を得るといって、これは青パトがあるということですので、その辺りもちょっと隊員で調べていただけたらいいんじゃないかなというふうに思いました。

あと、長期的には、この資金の問題というのは、なかなか従来型の活動をお続けになるのも難しいというところも、なかなかありますので、例えば、若いうちから、若い方いらっしゃるのであれば、将来、できたら、例えば、NPO法人みたいなものを作って、そこに資金を安定的に供給してもらうようなシステム作り、これも将来的には1つ考えられるといいかなと思います。いずれにしても、次世代への



バトンタッチ、期待、今後も期待させていただいて、川合町で育った子供たちが引き続き次の世代になって、安心安全な川合町を実現して維持していただければと思います。今日はありがとうございました。

# 勝谷新町自治会わんわんパトロール隊（山口県）

皆さま、はじめまして。山口県下関からまいりました。勝谷新町自治会、わんわんパトロール隊のシライシと申します。どうぞよろしくお願いいたします。さて、今回は防犯ボランティアフォーラムにお声を掛けいただき、ありがとうございます。今日は当自治会、わんわんパトロール隊についてお話をさせていただきます。



まずは下関市の紹介をさせていただきます。下関は山口県の西側に位置しています。本州の最西端にあり、関門海峡を挟んで九州の福岡県北九州市と隣り合っています。県内で最も人口が多く、約25万人の住む中枢中核都市です。海に囲まれ、沿岸では漁業、北部では農業が盛んな自然豊かな街です。また、さまざまな歴史文化が残る観光資源に富む場所でもあります。



下関の名所として有名なものが、これらの場所です。一度は目にしたことがある方もいらっしゃるかもしれません。唐戸市場、赤間神宮、角島大橋、しものせき水族館などが市民にも人気でございます。ぜひ、皆さま、来られたときには立ち寄ってください。

それでは勝谷新町自治会の紹介です。当自治会は加入世帯900世帯、人口は約2500人の地縁団体です。役員は現在79名おり、全員が10の専門部に所属して、地域住民が安心安全に暮らしていただくために役員活動をしております。



## わんわんパトロール隊のご紹介

◎設立 平成16年6月25日  
◎会員 62名



## 年間を通しての活動

犯罪のない「明るい・住みよい・街づくり」の実現を目指し制服・帽子・腕章を着用して行動することで犯罪抑止効果を生み出しています。

1. 地域防犯パトロール
2. 登下校の見守り地域防犯パトロール
3. 高齢者見守り支援活動防犯パトロール
4. 自治会行事支援活動

わんわんパトロール隊の紹介をさせていただきます。活動内容として、わんわんパトロール隊の呼び名のとおり、愛犬といつもの散歩ついでに自宅周辺、通学路など、児童生徒の通学の見守りを行う。不審者、不審車両を発見した場合、交番または110番通報する。そして、子供や高齢者が事故や犯罪に巻き込まれない安心安全な街づくりに努めるべき、町民の皆さまの日常を通じた防犯活動を行い、防犯抑止を図るところを目的としたボランティア団体です。もちろん、愛犬のいない方も健康のためのウォーキングやジョギング、散歩をしながらパトロール活動をしている隊員さんも多くみられます。

年間を通しての活動にあたって、犯罪のない、明るい住みよい街づくりを目指し、制服、帽子を着用して活動することで防犯抑止効果を生み出しています。主な活動は次の4つです。地域防犯パトロール、役員会終了後に毎回実施しています。年末の特別防犯パトロールでは、下関警察署、下関消防署とともに実施しております。登下校の見守り地域防犯パトロール、児童生徒の登校時の朝の見守り活動を始め、小学校の入学式や集団下校にも参加しています。高齢者見守り支援活動パトロール、1人暮らしや2人暮らしの高齢者の見守り支援を行っています。自治会行事支援活動、地域運動会、町内一斉草刈り作業、夏祭り、餅つき大会等、安心安全を支援しています。町民からの危険箇所の通報や要望を警察、消防、市役所など関係部署に連絡して処理をさせていただいています。



勝谷新町の児童たちが通う下関市立一の宮小学校の入学の様子です。一の宮小学校は、昭和61年に開校された比較的新しい小学校です。全校児童は451名、今年度の新入生は74名でした。

小学校の玄関前で新1年生にお祝いの言葉を掛け、毎朝、会うよ、これからよろしくねと、わんわんパトロール隊のPRをさせていただいています。



一の宮小学校で学期ごとに行う集団下校には、毎回 10 名以上の隊員が参加しています。毎年 5 月には小学校により、わんわんパトロール隊の紹介をいただいています。



こちらは去年 11 月の集団下校の様子です。寒いですが、子供たちの安全な下校を見守りました。多くの方は 10 年以上、長い方では登下校の見守り活動を 20 年近く続けている隊員さんもいます。雨の日や冬の寒い日は出たくないなって思う日もあるけど、子供たちの様子が気になるから毎日、見守りに行きますと、見守り活動をしている隊員さん。多くの方に支えられ、続けてこられました。



こちらは子供会主催の新入生歓迎ミニ運動会の様子です。子供会との世代間交流として運動会に招待されています。テント張り等準備支援も手伝っております。

勝谷新町子供会は、町内を中心とした近隣の児童たちで構成されており、ソフトボールやポートボールのチームもあり、元気に活動しております。



地域交流会行事との連携も行っております。こちらは、とろりんこという子育て支援サロンの活動の様子です。月に1回、町内や近隣の乳幼児を持つ子育てママさんたちの交流を支援しています。支援者は子育てが終わったベテラン隊員さんが中心です。時には育児相談にも乗っております。



こちらは青色回転灯運転者講習会の様子です。朝の登校支援のパトロールや夜間の防犯パトロールに使用する青色回転灯、通称青パトの運転者証の更新のために、毎年、講習会を実施しています。

わんわんパトロール隊員をはじめ、勝山地区自治会連合会の役員さんも勝谷新町自治会の町民館で講習を受けておられます。



こちらは毎年6月に開催される、わんわんパトロール隊の定例会の様子です。

隊員および地域住民と来賓に参加をいただき、来賓からは防犯フォーラム、防災講話、地域状況などの報告をいただいております。



防犯、防災に対して大事なものは、日々の備えやこまめな情報収集、これからも発信していきたいと思っています。

参加者全員で安心・安全宣言の唱和を行い、最後を締めくくります。1つ、勝谷新町は犯罪ゼロを目指し努力します。1つ、防犯意識を全住民に高めていきます。1つ、防犯は私たち一人一人が主役です。1つ、犯罪を未然に防ぎます。以上、勝谷新町地域の安心・安全宣言を行います。



こちらは町内の夏祭りの様子です。参加者も町内をはじめ、近隣のかたがたも数多く遊びに来られます。

夏祭りの準備は2カ月前から始めますが、1週間前より子供みこしやささ飾りの作製、テントの設営、やぐらや舞台の設営も行います。

夏祭り当日も交通整理、会場見回りなど大忙しです。



自治会で開催される敬老祝賀会も支援しております。

敬老祝賀会の会場準備、手伝い、後片付けの支援もしております。また町内にある、いずみ保育園の園児さんと一緒に、高齢者のお宅へお祝い品を届けております。



昨年 11 月に下関で行われた下関海響マラソンにも、ボランティアで参加しております。下関海響マラソンは、三方を海に囲まれた本州最西端の都市である山口県で開催される、マラソンのロードレースの大会です。瀬戸内海と日本海の 2 つの海沿いを走る風光明媚なコースがあり、人気の会です。昨年はゲストランナーとして、東京 2020 パラリンピックゴールドメダリスト、道下美里さん、下関出身の方も参加されました。

勝谷新町有志の実行委員会メンバーで開催する餅つき大会の様子です。130 名の参加でにぎわいます。子供たちは、実際にきねで餅をついたり、ついた餅を自分で丸めて食べます。男性隊員はきねと臼の準備や、子供の餅つきの援助、女性隊員は、もち米を蒸したり、子供の世話をしたり大忙しです。



こちらは下関警察署主催による、うそ電話被害防止戸別訪問出発式の様子です。下関警察署、うそ電話詐欺防止戸別訪問隊、わんわんパトロール隊、下関市勝山地区防犯パトロール隊などが参加して、町内の高齢者宅を戸別訪問し、啓発活動を行いました。

わんわんパトロール隊では、毎年12月20日から12月31日まで、青色回転装備車、通称青パト車による年末警戒パトロールを実施しております。昨年の12月22日には、46名の特別隊員が警察、消防と共に年末特別パトロールを実施いたしました。この年末特別警戒パトロールには、子供隊の保護者の皆さんも多数参加していただきました。



平成29年12月12日に、勝谷新町自治会内に自主防災組織を設立いたしました。地域住民で自主的な防災活動を行い、地震をはじめ、あらゆる災害による被害を被害防止、および軽減を図ることを目的とした組織です。設立式には130名の住民が参加いたしました。

こちらは下関市勝山地区街づくり協議会主催の防災訓練に参加した様子です。勝山地区の危険箇所をチェックしています。この年に勝山地区の防災対策マップを作成いたしました。





こちらは下関教育委員会主催の学校安全研修会に参加した様子です。学校関係や自治会や地域の見守り活動を行っている団体が対象の研修会です。各地域、学校において、子供たちの安全の確保が図られるよう、学校安全に関する研修や情報交換が行われました。

こちらは山口県の秋の交通安全運動の様子です。春、夏、秋の全国交通安全運動、高齢者交通事故防止県民運動、前期、後期、年末年始特別安全県民運動、年6回実施されますが、この期間だけは、わんわんパトロール隊の青いジャンパーを脱いで、山口県警より貸与された黄色いジャンパーに着替えて、交通安全運動を行っています。団地内には交通安全運動ののぼりを立て、登校時の見守りはもちろん、町内に危険箇所がないかなどの見守り活動の実績に行っております。



これからも高齢者や子供さんをはじめ、みんなが安心安全で暮らせる街づくりを目指します。わんわんパトロール隊は、平成16年6月に発隊し、今年で18年になりました。当時、犯罪抑止活動等、ごさいませんでした。役員会の折、多の地域で、犬の散歩のかたがたに腕章をつけて歩いていただいているところがあると聞き、皆が、ぜひやってみようという運びになり、散歩中の皆さまに声を掛け、ご理解、ご協力をいただき、発隊の運びとなりました。組織を作ることはたやすいですが、いかに衰退なく継続するかが問題となり、年に1度から2度の定期防犯防災講話などに参加、自治会行事参加等声掛けを行い、活動は盛んになり、本日に至っております。この組織のおかげで防犯抑止効果はもちろんですが、地域の皆さまとお話する機会も増え、自治会活動の理解も深まっております。隊員の皆さまの地域のかたがたの交流ができ、サークル活動、花見、温泉旅行等活発に活動しておられます。継続は力なり、まさにそのとおりでございます。少しの自治会のサポートにより基礎ができ、小さな花が咲きました。今後の課題といたしまして、この組織を基盤に青年部による防災組織運営等、次の世代に引き継いでいこうと考えております。

最後になりますが、自治会役員を長く在籍していただくのが一番だと思います。地方創生の基礎と考えます。各自治会が衰退する中、勝谷新町自治会は大変恵まれております。役員総数79名、自治会がま

とまれば市もまとまる、市がまとまれば県もまとまる、ひいては国もまとまるのではないのでしょうか。以上、ご清聴ありがとうございました。

## 講評

**吉中** 長らく本当に地道な活動をされてらっしゃるなというふうに考えていました。特に、わんわんパトロール隊というのは全国にたくさんあると思うんですけども、この活動のポイントというのは、書かれていますように、ながら見守り隊。無理のない日常の行動にリンクして、見守り活動をするということだと思います。それも1つの長く続けてこられているケースの1つだと思いますけれども。愛犬の散歩だけでなく、買い物やジョギング等の日常的な散歩されている方にも広げて、無理のない活動されている。こういう日常活動と結び付けるということが、持続活動な防犯活動の1つのポイントなんですけれども。

それからもう1つは、顔の見える活動ということだと思います。今、コロナの時代で、なかなか家に引きこもったりとか、なかなか顔が見えにくく、我々もマスクしていますけれども、時代ですけれども。非常に活動の、バラエティーに富んだ活動、さまざまな活動をされている、飽きのこない活動を。日常的には見守りパトロール活動、それから小学校と連携した小学校な安全確保活動、集団登下校、集団下校の見守り等、地道にされておられながら、年数回の自治会行事への参加とか、防犯、交通事故抑止啓発に係る広報資料の作成や配布、それから年末警戒パトロール等々。それから紹介されていました夏祭りとか、餅つき大会とか、本当に防犯活動の、地域防犯活動のセオリーに本当に忠実に地域を盛り上げるという形で取り組んでおられるなということが再確認させていただきました。

それから、1年に何度か、発信されていましたが、そういう地域の中での情報交換、情報交換をしきりにされているなという印象です。なかなかこういう時代の中、活動を続けていく中で、常に隊員たち、自治体との間でも情報交換、意外に不足しがちなんです。だけど、それをして、このような活動の中で情報交換されているというのも本当に素晴らしいことだと思います。

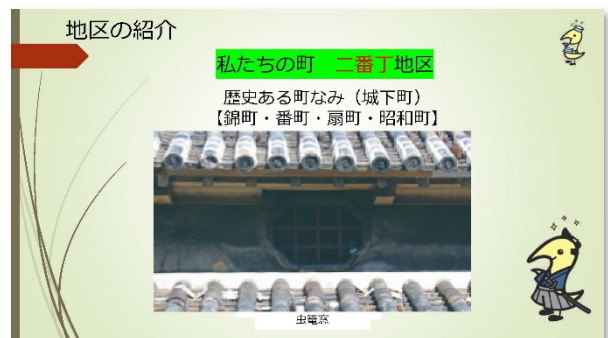
最後におっしゃっておられましたように、役員が79名、900世帯で79名って、相当、自治会としての基盤が、マンパワーの力が非常に大きいなど。改めて、こういう見守り活動というのは、人が人を見守るんだなど。もちろん防犯カメラ等のテクノロジーも、うまく使いながら補っていくということも大事なんですけれども、改めて人が人を見守る、そして人が見守る中で次の子供たち世代がそこで育っていき、次の世代にバトンタッチできるんだなってこういう社会、こういう世の中というものが、我々の望んでいる本当にモデルとなるような取り組みなんだろうと感じさせていただきました。継続は力なりということもおっしゃっておられました。この防犯活動も最大の課題って持続可能性、継続性ということ。継続していくためのいろんな、これからも、ぜひアイデアを出していければ、次の世代にバトンタッチしていただけたらなど期待しております。どうも、今日はありがとうございました。

# にこみん見守りクラブ（香川県）

よろしくお願いいたします。それではまず最初に、にこみん見守りクラブのにこみんについてお話を、私、根ヶ山のほうからさせていただきます。にこみんといいますのは、私どもが所属しております、二番丁地区コミュニティ協議会の二番丁の『に』、コミの『こ』、みんなっていうので、にこみんというキャラクターです。これからにこみん見守りクラブを名前を付けました。これ、ご存じのように、2 という数字をデザインをして作りました。この二番丁という、本当はこういう字なんです、鳥ということ、羽ばたいてほしいという願いを込めてもおります。

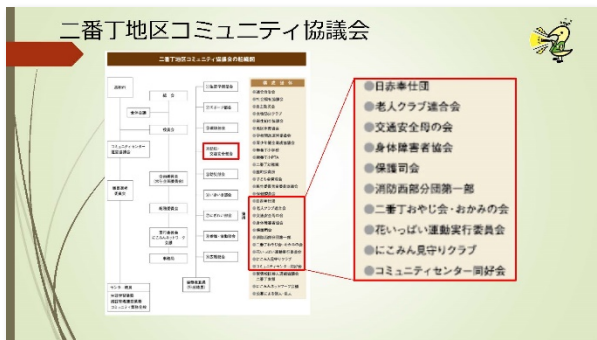


それでは私どもが活動しております、二番丁地区を紹介していきたいと思っております。こちらの地図でありますように、今日の会場の松山のお隣の県、香川県の二番丁地区は高松市というところにあります。この中の中心部です。私どもの二番丁地区というのは、徒歩10分から15分圏内に高松駅、それから旧高松城の跡もあります。それから市役所、県庁、あと、出ていませんが、日赤とかデパートなどもありまして、とても利便性のよい地域です。人口は約1万人、世帯数は5600世帯、高齢化率は30%、1人暮らし、2人暮らしの高齢者が多い地区です。



瀬戸内海に面しました高松駅を中心とした地区がサンポートです。こちら、サンポートというところなんです、こちらには合同庁舎をはじめ、マンションが多く立ち並ぶ新しい街です。一方、南側には高松市の市の中央図書館、香川大学、そして高校もある文教地区でもあります。

また、高松城の城下町の面影を残していますので、戦前からの建物、城下町の名残として武家屋敷、そして虫籠窓などもある家が、まだ残っております。そういう空襲で焼け残った家並みがありますので、道路の幅が狭く、交通事故の危険や防犯上にも問題がある地域でもあります。



では次にコミュニティ協議会という耳慣れない言葉があるかと思いますが。このコミュニティ協議会っていいものは、ちょっと見えにくいんですが、一番向こうに高松市がありますね。高松市の政策に基づいて、小学校区ごとに、街づくり活動をするために設立された住民組織です。この組織は自治会をはじめ、民生委員協議会や子供会、老人クラブなどの団体や地域住民で構成されています。こちらが組織図になります。地域の人が誰でも参加できる協議会です。にこみん見守りクラブももちろんこの協議会の中の組織の1つです。

では、続きまして、このにこみん見守りクラブの活動が、至るまでの活動をお話したいと思います。まず平成18年に、二番丁地区老人クラブが小学校児童登下校見守り活動を始めました。設立当初は60人の見守り隊がいました。しかし、平成22年に小学校の、近隣の小学校と、少子化と校舎の耐震性の問題により統合しました。その結果、校区が広くなり、そして児童数も多くなり、なかなか子供たちとの触れ合いができにくくなりました。その上、高齢者がどんどん高齢になり、隊員が減っていき、見守り活動が十分にできなくなりました。



そこで、花いっぱい実行委員会が始めたのが、スクールゾーン花いっぱい運動です。子供たちが登下校をするときに、花のお世話をすることで見守ろうという運動です。自治会や地域の金融機関などにも花苗を配って、協力していただいています。学校と連携して子供たちと花も一緒に植えています。

また、地域の課題も多様化して、その1つに徘徊高齢者情報や、不審者情報も多くなってきました。そこで次に平成28年に、にこみんパトロール中という活動を始めました。こちらはコミュニティ協議会所属の、地域安全連絡会という団体が中心になって始めました。この活動は自転車で、ながら見守りをしようというものです。高松市は坂のない平たんな道が多いので、自転車での移動が多くなっています。そこで当協議会に呼び掛けて、子供たちの登下校に合わせて自転車の前かごに、にこみんパトロール中のパネルをつけて、ながら見守りを始めました。子供の登下校だけでなく、高齢者の見守りや徘徊高齢者の発見に役立てようという活動です。現在でもコミュニティ協議会所属の団体が協力してくれ、隊員が100名近くいます。こちらは出発式の様子の写真でございます。さらに、もっとたくさんの人を巻き込んだ活動ができないだろうかと思い、コミュニティGO実行委員会を立ち上げました。

### “コミュニティGO”実行委員会

- 課題
  - 地域の高齢化
  - 子どもの見守り強化
  - 災害への対応
- みまもるんジャー
- 「安全安心なまち」マップ

### 二番丁みまもるんジャー

- 毎月2日は二番丁の日
- みまもるんジャーベストで歩いて見守り
- 地域の人と挨拶を交わす

平成30年度から令和2年度、高松市課題解決応援加算事業として、コミュニティGO実行委員会は実施いたしました。組織は、コミュニティ協議会各団体から横断的に組織をいたしました。日ごろの花いっぱい運動や地域のお祭り、防災訓練などで顔なじみでしたから、目的意識を共有すると、すぐに動き始めることができました。目的は、住み慣れた地域で安全で安心して明るく暮らせること、住民同士の連帯感の強化、犯罪の少ない町を目指すことです。当時の地域の課題といたしましては、地域の高齢化によって、孤独死の心配や犯罪への対応が難しい事例が出てきていました。校区の拡大や不審者の増加によって、子供の見守り強化の必要性がありました。災害時の対応の問題が生じていました。

そこでまず最初に、二番丁みまもるんジャーを結成いたしました。見守るレンジャー部隊ということです。活動内容は、毎月2日は二番丁の日と制定をして、みまもるんジャーベストで歩いて見守りをする。地域の人と挨拶を交わそうを合言葉に活動を始めました。

### 「安全安心なまち」マップ

～欲しい情報を網羅した欲張りな地図～

地図記号と分かる？

北が上？

★防犯・避難・3

防犯と交通安全と防災  
医療機関も知りたよね！

### にこみん見守りクラブ

- 地域安全連絡会
- 「にこみんパトロール中」「自転車」ながら見守り
- 「コミュニティGO」実行委員会
  - 二番丁みまもるんジャー
  - 「歩いて」見守りとあいさつ運動
  - 「安全安心なまち」マップ

手段は違うが、目的は同じ（防犯部会に所属）  
いっしょに活動できる

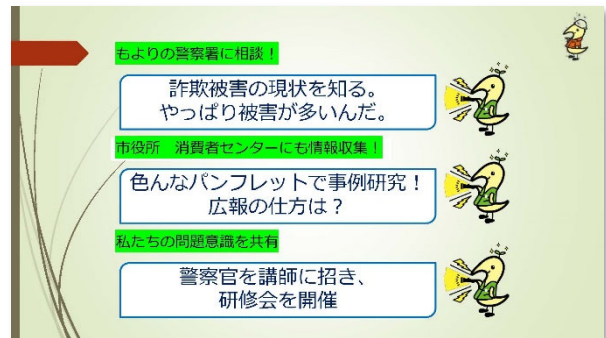
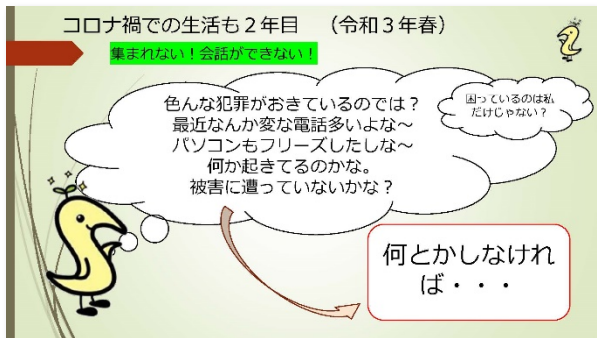
↓

にこみん見守りクラブ設立

次に『安全安心なまち』マップを作成いたしました。コーティングをしたアルミプレートに、A3判で作成した地図をラミネート加工して貼りました。地域の50カ所以上、学校、保育所、幼稚園、公園のフェンス、自治会掲示板、自社の塀、地域の店舗、金融機関、個人宅などにも貼らせていただきました。この地図の特徴は、地域の見守りポイント、交通事故や不審者発生場所などと子供SOS発生時の避難所、地区内の医療機関情報を全て盛り込みました。いざというときに頼れる、欲しい情報を網羅した欲張りな地図となりました。また、小さな子供でも分かりやすいように、地図記号はイラストにしました。例えば、公園はジャングルジムと滑り台というふうに表示しました。また、大人の常識では地図の上は北ですが、直接見た方向にある建物情報を載せることにしました。カーナビのように進行方向が上となっています。以降、半年に一度の見直し作業をしております。

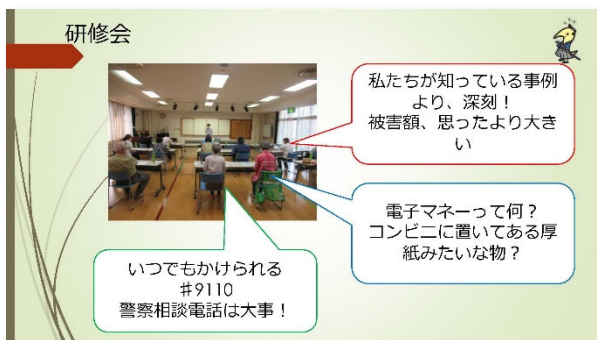
令和3年度春、コミュニティGO実行委員会はプロジェクトが完了いたしました。事業継続の必要性がありました。日常の見守りと年2回の地図更新のためです。また、地域安全連絡会は、高齢化による構成員の減少が心配される状況にありました。この二つは手段こそ違いますが目的は同じです。地域の防犯部会に所属をしておりました。そこで、一緒に活動ができるのではと、にこみん見守りクラブの立ち上げとなりました。コミュニティGOの活動後半、令和2年度からはコロナ禍となりました。緊急事態宣言下では、花いっぱい交流活動が中止となり、高齢者と子供の交流の機会が減りました。また、

コミュニティセンターの使用条件が厳しくなり、閉館になると、月1回の老人給食会や敬老会も中止となりました。集まる機会がなくなり、不審者情報や交通事故、詐欺事例等が身近に起こっていても、周知をする機会がほとんどなくなりました。



コロナで外出を控えて在宅時間が増えると、家にセールスや押し買いなどの電話がかかってくるが増えました。運送会社の名前で、荷物が届けられなかったというショートメッセージもたびたび。パソコンが突然フリーズして、あなたのパソコンはウイルスに感染していますと表示されたことがありました。誰かに相談したい、でも、気軽には会えない。それは、きっとみんなも同じはず。情報共有がしたいと切実に思いました。しかし、何か行動を起こすには活動資金が必要です。香川県防犯活動自主企画提案事業助成金ができることを知って、申請をいたしました。デジタル弱者である高齢者が多い私たちの地区では、紙媒体による周知が有効と思われましたので、詐欺被害を周知できる制作物を全世界に配ることにいたしました。

掲載内容検討のために警察署に相談に行き、被害の大きさと手口の巧妙さに驚いてしまいました。消費者センターにも相談に行き、いろいろなパンフレットをいただいて、事例研究や広報の仕方の検討を始めました。



また、にこみん見守りクラブ意識向上のために研修会を行いました。研修会では、生活安全課から講師をお招きし、被害の実態を学びました。手法の細かさや分かりにくさ、被害額の大きさに驚きつつも、いつでも相談できる電話があることを知りました。

最終的に、あちこちに貼れるシールを作成することにいたしました。シールのタイトルは、『にこみんのおやくそくシール』。お手元にお配りしている資料の中にあると思います。ご覧ください。



しかし、シールだけでは分かりにくい。シールの使い方や研修会で知った情報もお知らせしたいと、だまされんで！パンフレットを作成して、一緒に配りました。掲載内容は研修会の資料や香川県警のYouTube動画を参考にさせていただきました。

併せて子供たちには交通安全を呼び掛ける、にこみんとのおやくそく、かわいい私チラシを作成して、地区内の小学校、幼稚園、保育所に配りました。配布の後、みまもるんジャーさんから、横断歩道で手を上げる子供の数が増えたようだとの報告がありました。また、出来上がった作品はコミュニティセンター内に掲示をしました。子供たちが作品を見に来たり、高齢者がまるで自分の孫の作品を見るように鑑賞したりと、間接的ではありますが、触れ合いの時間となりました。



令和3年度後半からは、少ないながらも地域の活動が始まりました。地区の冬のお祭りでは防犯キャンペーンを行いました。警察相談専用電話の番号をラベルシールに印刷してカイロに貼って、受け付けで声を掛けながら配りました。

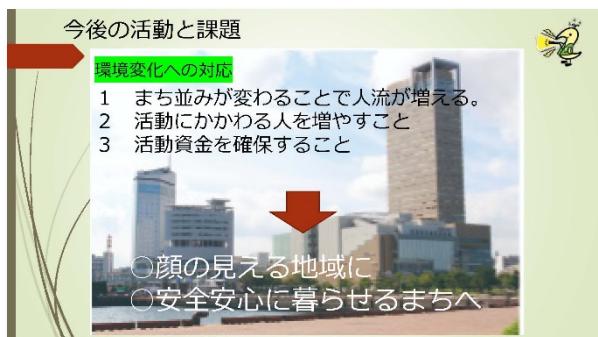
また、ポスターを作成して、地域の金融機関にも掲示をお願いしました。花いっぱい運動を通じて、日ごろのお付き合いがありますし、『安全安心なまち』マップも貼っていただいているので、嬉しいやすい関係性だったのです。



これらの反響といたしましては、地区外に住むご両親に送りたいと、シールをコミュニティセンターまで取りに来てくださる方がありました。銀行に貼ってあるポスターに目が留まり、警察が作ったんか

と思ったら、コミュニティ協議会だったなという声もいただきました。地元が作ったものとして注意をして見ていただくことで、詐欺被害を身近なものとして捉えていただくことができたようです。

配布後も地域広報誌でシールの使用を呼び掛けました。今月からは地域広報誌面に、にこみんみまもるんジャーのつぶやきコーナーを開設して、私たちの活動を紹介したり、防犯情報発信を継続していくことになりました。



今後の活動と課題ですが、私たちの町は、町並みが変わっていくことで人流が増えます。新しい地域サンプォートには建物が次々と建築中です。駅ビルやホテル、香川県立体育館、大学の建設と地域の発展は、とてもうれしいことです。半面、見知らぬ多くの方が集うことで、交通事故や犯罪の増加の恐れがあります。活動に関わる人を増やすこと、レンジャー部隊である、みまもるんジャーを増やすことが必要

です。隊員の高齢化による減少を食い止めるため、若い世代への働き掛けが一番大切だと思っています。自治会やコミュニティ協議会の会合でも私たちの活動を紹介し、隊員募集をしています。また、広報紙やホームページでも PR をし、隊員増につなげていくことにしました。活動資金を確保すること、香川県、高松市、企業などの助成金を獲得して、新しい取り組みにつなげていくことです。みまもるんジャーや、にこみんパトロール中は屋外活動ですから、コロナでもできる活動です。隙間時間でできる活動です。参加者の負担を軽くし、継続しやすい見守り活動をこれからも地域で拡大していきたいと思っています。顔の見える地域に、安全安心に暮らせるまちへを目標に私たちの活動は続きます。ご清聴ありがとうございました。

## 講評

**吉中** 本日は報告ありがとうございました。何よりもこの、にこみんというキャラクターのかわいさと素晴らしいので、すぐ覚えてもらえられやすいので、こういう何かシンボリックなものっていうの、すごく人々の心を1つにつなげるという意味では、とても大きい効果があるということは分かっています。この、にこみんのキャラクターを作って、特に私もびっくり感動したんですけども、このだまされないでというチラシを作っていただいで、非常に分かりやすくいいですし、カラフルで、しかもぱっと見、分かりやすいといえますか、ものすごく工夫されているなというふうに思いました。

我々今、デジタル社会で、デジタル社会、デジタルという時代に来てはいるんですけども。ともすると、何の情報でも手に入れられるようでありながら、情報の渦となって、うずもれて溺れてしまうというような、しばしばあることです。必要でない情報は捨てて、必要な情報も分かりやすく伝えるという意味では、本当にこの塗り絵と、非常に私なんかの世代には懐かしくも感じますし、またお子さんなんかにとっても理解していきやすいってことで、幅広い世代の中で大切な情報を伝えていかれているということで、本当に素晴らしいと思いました。

インターネットの普及はもちろん功罪ありまして、いいところもたくさんある、これを有効活用していくってこともすごく大切なことなんですけども、1つの弱点としてよくいわれますのが、一覧性の難しさ。例えば、新聞とか、今、まさに新聞を取らなくなっている家庭も多いということなんですけども、例えば、新聞を見ますと、大きく開くと、1面で書くと、何がどこにあるかっていうの、分かりやすく



一覧性っていうんです。細部というのが、なかなかインターネットとかですと、どんどん次々という形で掘って行って、そして自分の情報を探り当ててるってことなんですけども。そういう、ぱっと見分かるというような情報データ、PRの仕方、発信力の素晴らしさっていうところで、群を抜いて本当に、にこみんさんの活動には頭が下がる思いでございます。

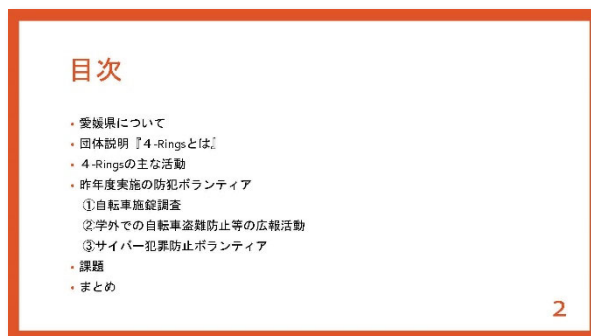
活動形態としまして、かつては地域連絡会さん、それからコミュニティ G0 の実行委員会が、2つの組織が、また何と申しますか、新たな再生というか。我々、都市の持続可能性というのを考えるときに、つい、1つのグループ組織のままで、ずっといかになくちゃいけないんだということを考えがちなんですけども。実はそうではなくて、あたかも甲殻類とか生物の脱皮して、次の新しい殻を手に入れるというような形で再生していく、新しい組織に生まれ変わっていくという、本当に良い例を拝見させていただいたなと思いました。

それから、まだ付け加えさせていただくとすると、何かこの、にこみん見守りクラブさんの活動の優しさみたいなものを非常に感じられました。花いっぱい活動とか通学路の環境整備ということもそうなんですけれども、こういう環境整備をしていくということは、犯罪学で環境犯罪学という、まさに学問分野があるんですけれども、環境犯罪学の考え方、非常に重要で、町をきれいにしていく、そういう中で人々が表に出ていく、それによって、すごくこういうところ、汚しちゃいけないなという気持ちになったり、そして、それが防犯であり、安心で安全な社会につながっていくんだということなんです。そういったことも本当、踏まえられながらされている。そして、特殊詐欺の対策等といったしましては、警察との連絡、連携、9110 というところも、しっかりと赤で本当分かりやすくなって、シールに貼ることが、他のさまざまなグループも、これは参考になる取り組みだなというふうに思いました。

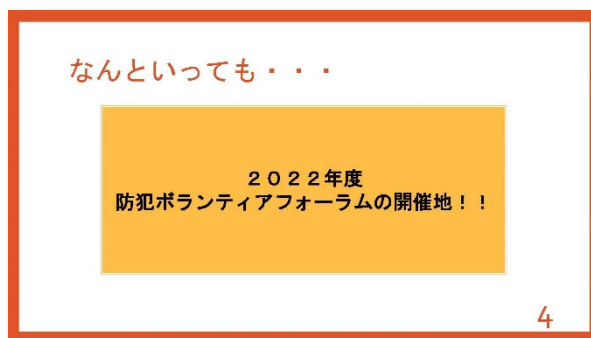
そういう意味で今後、最後におっしゃっておられましたけど、若い世代に働き掛けていくということ、それから引き続き、顔の見える活動を続けていかれるということを期待させていただいています。コロナだから集まらないじゃなくて、コロナだからこそ、今こそ、何が大事か、我々何が求め、欲しかったのかということ改めて、こちらの部から感じさせていただいてありがとうございます。今後、活動、ますます期待しております。どうも、今日はありがとうございました。

## 4-Rings (愛媛県)

ただいまより愛媛県、4-Rings の発表を始めたいと思います。発表は、4-Rings 代表の松山大学3回生の成瀬萌絵と、松山大学2回生の土井内久斗が行います。よろしくお願いいたします。



目次はこちらです。順番に、愛媛県について。団体説明、4-Rings とは。4-Rings の主な活動。昨年度実施の防犯ボランティアである自転車施錠調査、学外での自転車盗難防止等の広報活動、サイバー犯罪防止ボランティアの3つ。また、課題と最後にまとめです。



最初に愛媛県について軽くご紹介させていただきます。

愛媛県は何ととっても、今年度の防犯ボランティアフォーラムの開催地です。皆さんがお越しいただいた愛媛県の魅力について、少しお話しさせていただきます。



愛媛県の魅力はたくさんありますが、観光地として外せないのが道後温泉です。会場からも近いので、もしかしたらもう見られた方も、入浴された方もいらっしゃるかもしれませんが。道後温泉は、ただいま改装工事をしています。改装工事をしておりますが、入浴はできますので、ぜひ行ってみてください。また、道後温泉駅から市内電車で10分ぐらいのところにあるのが松山城です。松山の歴史を感じられ

るのはもちろんのこと、道中では、市内電車が街中を走っているの、道中も楽しいこと間違いなしです。また何ととっても愛媛といえばミカンです。甘くておいしいミカンや名産品であるじゃこ天を、ぜ

## 4-RINGSとは



6

### 4-RINGSの構成



4つの大学の合同ボランティアサークル

7

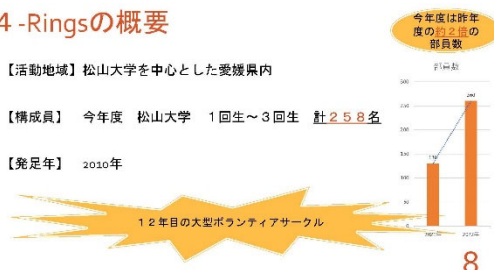
ひお召し上がりください。そしてご家族やご友人、ご自身へのお土産に今治タオルもお勧めです。ぜひ触ってその品質を実感してみてください。このように愛媛には魅力がたくさんやけん、ぜひ愛媛を満喫してってください。

次に私たちの団体、4-RINGSについてご説明させていただきます。

4-RINGSとは松山大学、愛媛大学、聖カタリナ大学、松山東雲女子大学の4つの大学の合同ボランティアサークルです。

### 4-RINGSの概要

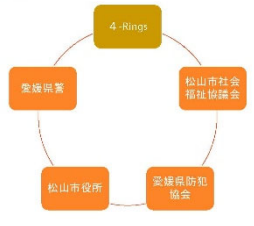
- ・【活動地域】松山大学を中心とした愛媛県内
- ・【構成員】今年度 松山大学 1回生～3回生 計**258名**
- ・【発足年】2010年



12年目の大型ボランティアサークル

8

### 主な連携先



9

活動地域は、松山大学を中心とした愛媛県内です。構成員は、今年度は松山大学の1回生から3回生の学生、計258名です。昨年度の部員数は約130名であったので、今年度は昨年度の約2倍の部員数となりました。そして、4-RINGSは2010年に発足した12年目となる大型ボランティアサークルです。

4-RINGSはさまざまな団体にご協力をいただき、ご協力をしてもらい、活動しています。主に愛媛県警様、松山市役所様、愛媛県防犯協会様、松山市福祉協議会様の4つの団体さまにご協力いただいております。

## 主な活動

10



## 月1清掃

11

次に私たちのことを知っていただきたいので、防犯ボランティアではないですが、私たちが行っているボランティアについて紹介させていただきます。まず始めに月1清掃です。



・月に1回、城山公園や道後公園で落ち葉や雑草を集めて松山中心の施設の景観を守る活動を行っている。

※昨年度は、新型コロナウイルスの影響で数回しか実施できず・・・

12

月に1回、城山公園や道後公園に行き、落ち葉や雑草、ごみを集め、松山の中心にある施設の景観を守っています。しかし、昨年度は新型コロナウイルスの影響により、松山大学から校外での活動禁止令が出てしまい、数回しか実施することができませんでした。



## 梅津寺 清掃

13



- ・愛媛県の海である「梅津寺」の清掃
- ・約2時間の掃除で、ゴミ袋8袋分のゴミを回収

海清掃は初の活動ということもあり、少人数で行ったが、今年度は規模を拡大して行う予定

14

次に梅津寺の清掃です。

梅津寺とは愛媛県にある海岸の名称です。少人数で行ったにもかかわらず、約2時間の掃除で、ゴミ袋8袋分のごみを回収しました。海清掃は初の試みということもあり、少人数で行いましたが、今年度は規模を拡大して行う予定です。



## 休日子供カレッジ

15

## 休日子供カレッジとは？



- ・ワークライフ・コラボさんが、松山大学内で、長期休暇時に子供の預かり保育をしている。
- ・勉強を教えたり、一緒に遊んだり、子供を見守るボランティア。

16

次に休日子供カレッジです。

休日子供カレッジとは、ワークライフ・コラボさんが松山大学内で長期休暇に子供の預かりをしている事業のことです。私たちボランティアスタッフは勉強を教えたり、一緒に遊んだり子供を見守っています。



- ・1日1プログラム、企業や団体が、子供たちの「職業理解」や「地域貢献」として授業を行う。

子供たちや企業とのかわりが特で、子供たちから様々なことを学べる良い機会！！

17

また、休日子供カレッジでは1日1プログラム、企業や団体の方が、子供たちの職業理解や地域貢献として授業を行ってくれます。実際、私が参加した日はプログラミングについて体験型授業をしてくださいました。子供たちや企業との関わりが特で、子供たちからさまざまなことを学べる、いい機会となりました。

本日の本題!

# 防犯ボランティア



18



# 自転車施錠調査

19

次に本日の本題である防犯ボランティアについて、3つ発表させていただきます。  
1つ目は自転車施錠調査です。

## 自転車施錠調査とは



- 松山大学の学内の駐輪場に停められている自転車が施錠されているか調査し、施錠されていない自転車の注意喚起プリントを付ける。
- 6月/月の夏期間と、11月/12月の冬期間に、「二輪・自転車安全日」である18日がある月曜～金曜に実施

20

自転車施錠調査とはと思われた方も多いのではないのでしょうか。自転車施錠調査とは、松山大学に止められている自転車が施錠されているか調査し、施錠されていない自転車に左下の写真のような注意喚起プリントを付ける活動です。6月と7月の夏期間と11月、12月の冬期間に、警視庁が定めた二輪・自転車安全日である18日がある、休日を除いた月曜日から金曜日に実施しました。

# 自転車施錠調査 実施背景

21

## 愛媛県の自転車盗難の現状

愛媛県内では、令和2年中、

	被害件数	割合	割合の比率
学 生 全 体	456	341	74.8%
大 学 生	210	138	65.7%
高 校 生	28	17	60.7%
中 学 生	197	122	61.9%
小 学 生	42	25	60.0%
幼 児	21	19	90.5%

自転車窃盗認知件数は914件

学生被害の内、約半数が大学生  
無施錠率は65.7%

22

では、どうして自転車施錠調査が行われたのか、その実施背景について説明させていただきたいと思います。


自転車施錠調査を始めたきっかけは、愛媛県の自転車盗難の現状が大きく関わっています。愛媛県警様の情報によると、愛媛県内では令和2年中、自転車盗難認知件数は914件となっております。そのうち学生全体の被害総数は456件と半分を占めており、そのうち無施錠の自転車の割合は74.8%となっております。また、学生被害のうち約半数が大学生と、とても多く、65.7%が無施錠の自転車でした。

## 自転車盗難多発地域

- 市駅・銀天街周辺 被害件数 57件 (うち、無施錠 30件)
- 大街道・二番町通り周辺 被害件数 50件 (うち、無施錠 30件)
- JR松山駅周辺 被害件数 42件 (うち、無施錠 28件)
- 愛媛大学・松山大学周辺 被害件数 71件 (うち、無施錠 47件)

自転車盗難被害を減らそう!!

活動開始!!



23

また、松山市の自転車盗難多発地域は市駅、銀天街周辺が被害件数57件、うち、無施錠が30件。大街道、二番町通り周辺が被害件数50件、うち、無施錠30件。JR松山駅周辺被害件数42件、うち、無施錠が28件となっております。そして被害件数が一番多いのは愛媛大学、松山大学周辺地域です。オンライン授業の年で、学校に行く機会がある学生が少なかつたにもかかわらず、被害件数は71件にもおよび、うち、無施錠は47件となっております。これらの状況から、無施錠の危険性を呼び掛け、また大

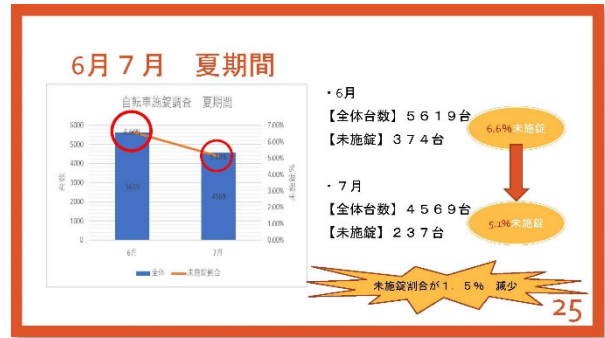
よび、うち、無施錠は47件となっております。これらの状況から、無施錠の危険性を呼び掛け、また大

学内の学生の見えるところで活動を行うことで、普段、施錠している人も危機意識を高め、自転車盗難の被害を減らせるのではないかと考え、活動を開始しました。

## 自転車施錠調査 結果



24



自転車施錠調査の結果について発表します。

まず初めに6月、7月の夏期間です。松山大学の駐輪所4カ所、月曜日から金曜日の計5日間、1日1時間、調査を行いました。6月は5日間全体の自転車駐輪数が計5619台、未施錠の自転車が374台あり、未施錠率は6.6%でした。次にその1カ月後に行った調査では、全体駐輪数が4569台、未施錠の自転車が237台と、未施錠率が5.1%となりました。夏期間の自転車施錠調査では、未施錠率を1.5%も削減することに成功しました。



### 結果 まとめ

- 夏期間・冬期間ともに、実施した次の月 → 未施錠率が減少 ↓
- しかし、
- 自転車施錠調査の実施期間が空く → 未施錠率が増加 ↑

今年度も自転車施錠調査を継続的に実施！！

27

次に11月、12月の冬期間での活動です。夏期間と同じ条件で活動を行ったところ、11月は5日間全体の駐輪台数が4575台、未施錠の自転車が319台と、6.9%の自転車が未施錠でした。その1カ月後の調査では、全体の自転車駐輪台数が4829台、未施錠の自転車が313台であり、未施錠率は6.4%でした。冬期間の自転車施錠調査では、未施錠率を0.5%減少させることに成功しました。

結果とまとめについてです。夏期間、冬期間ともに、実施した次の月では未施錠率を減少させることに成功しました。しかし、自転車施錠調査の実施期間が空いてしまうと、夏に減少した未施錠率が冬にまた増加してしまいました。そこで私たちは、今年度も自転車施錠調査の活動を継続的に実施していくことを決定しました。

## 学外での自転車盗難防止等の広報活動

28

### 学外での自転車盗難防止等の広報活動とは



- ・12月24日に、大街道・銀天街アーケード内で、駐輪禁止区間に停められている自転車・原付に注意喚起をし、自転車の施錠や駐輪場への駐輪の呼び掛けを行った。
- ・愛媛県警・松山市役所ご協力のもと、チラシやポケットティッシュの配布もした。

29

次に2つ目の防犯ボランティアについて紹介させていただきます。2つ目は学外での自転車盗難防止等の広報活動です。

学外での自転車盗難防止等の広報活動とは、昨年度の12月24日に、松山の中心地である大街道、銀天街アーケード内で、駐輪禁止区間に止められている自転車、原付きに注意喚起をし、自転車の施錠や駐輪場への駐輪の呼び掛けを行ったボランティアです。愛媛県警様や松山市役所様ご協力の下、チラシやポケットティッシュの配布を行いました。

## 学外での自転車盗難防止等の広報活動 実施背景

30

### 実施背景・現状

- ・①大街道・銀天街アーケード内は、自転車盗難多発地域である。
- ・②駐輪禁止区間に停められていることで、交通が危険である。

↓

自転車の施錠を促し、自転車盗難の被害を減らすとともに、駐輪禁止区間の自転車・原付を減らして、松山の交通を安全にすることを目的に実施！

31

学外での自転車盗難防止等の広報活動実施背景には、2つの理由があります。

1つ目に、先ほどご紹介したように、大街道、銀天街アーケード内は自転車盗難多発地域であるということ。2つ目は、駐輪禁止区間に止められていることで、交通が危険であるということです。これらのことから、自転車の施錠を促し、自転車盗難の被害を減らすとともに、駐輪禁止区間の自転車、原付きを減らして、松山の交通を安全にすることを目的に活動を行いました。

## 学外での自転車盗難防止等の広報活動 実施結果

32

### 実施結果



- ・1日で120枚のビラとポケットティッシュを配布することができた。

禁止区間に停めることが多く、盗難被害が多い若者へ、同世代からの警告は強い呼び掛けとなった

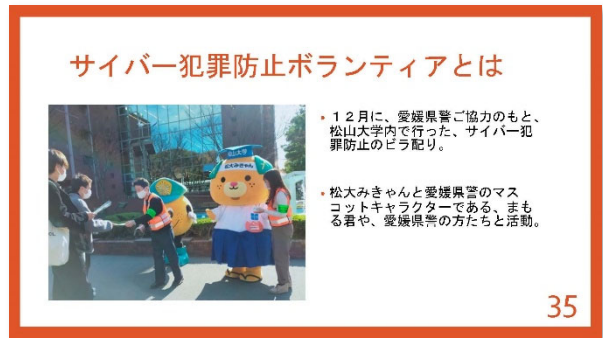
松山市の駐輪場のあり方について見直すべき

33

次に実施結果についてです。1日で120枚のビラとポケットティッシュを配布することができました。禁止区間に止めていることが多く、盗難被害が多い若者へ、同世代からの警告は強い呼び掛けとなったのではないかと思います。また、活動中に年配の方から無料の駐輪場を作ってほしいや、駐輪場の場所が分かりにくい等の声掛けをいただき、盗難被害防止の貢献に加えて、松山市の駐輪場の在り方について考えるきっかけとなりました。



34



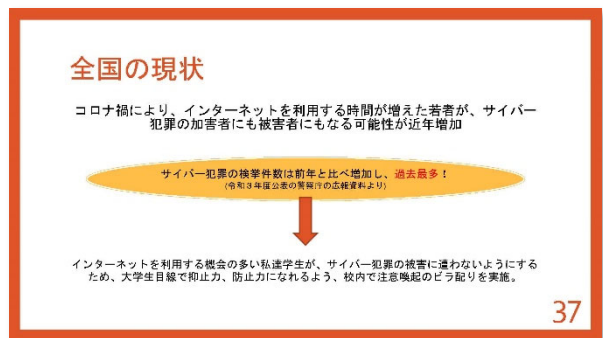
35

昨年、実施した防犯ボランティア、最後はサイバー犯罪防止ボランティアについてです。

まず初めに、サイバー犯罪防止ボランティアとは、昨年12月に愛媛県警様ご協力の下、松山大学内で行った、サイバー犯罪防止のビラ配りです。松大みきさんと愛媛県警様のマスコットキャラクターであるまもる君や、愛媛県警様と一緒に活動を行いました。



36



37

サイバー犯罪防止ボランティアの実施背景についてです。

サイバー犯罪の全国の現状について、お話しさせていただきます。コロナ禍により、インターネットを利用する時間が増えた若者が、サイバー犯罪の加害者にも被害者にもなる可能性が近年、増加しています。警察庁が令和3年度に公表した広報資料により、サイバー犯罪の検挙件数は前年度と比べて増加し、過去最多となっております。これらのことから、インターネット利用する機会の多い私たち学生が、サイバー犯罪の被害に遭わないようにするため、大学生目線で抑止力、防止力になれるよう、校内で注意喚起のビラ配りを実施しました。



38



39

次に実施結果についてです。

昼休みの2日間で約300のビラを配ることができ、多くの学生のサイバー犯罪について考えるきっかけとなったと思います。また普段、学内に見ることができない、まもる君と松大みきさんに、学生たちも喜んでいました。



## 現在の課題

40

### ①活動頻度の減少

- ・新型コロナウイルスの影響により学外での活動頻度が減少。
- ・子ども食堂の運営が中止。
- ・梅津寺での清掃活動は感染対策の為、小規模での開催。

41

次に現在の課題について、2つ発表します。

1つ目に活動頻度の減少についてです。現在は課外活動の制限は緩和されましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響により、松山大学からの警戒令で学外での活動は禁止され、学外での活動頻度が減少してしまいました。また、福祉関係や、子供と関わる子供食堂などの運営も中止となってしまいました。先ほど紹介した梅津寺での清掃活動は、感染対策のため小規模での開催となりました。

### ②連携大学の減少

- ・現在4-Ringsに所属している部員は松山大学生のみ。
- ・合同サークルではなくなってきている。
- ・他大学との交流ができていない。

42

2つ目の課題は連携大学の減少です。今年度、4-Rings に所属している部員は、松山大学の学生のみです。4-Rings の名前は4つの大学の合同サークルからきていますが、合同サークルではなくなってきてしまっています。なので、他大学との交流ができていません。

## 課題解決に向けて

43

### 解決法

1. SNSを使用した、人との接触を避けた活動や、学内でできる活動を増やす。
2. 他大学との連絡を頻繁に行う。



44

これら2つの課題解決に向けての対策は、1つ目の活動頻度の減少については、SNS を利用した人との接触を避けた活動や、学外での活動ができない場合は、学内でできる活動を増やすということで対策していこうと思います。2つ目の連携大学の減少は、他大学との連携、連絡を頻繁に行うことです。そのためにInstagramやTwitterの4-Ringsのアカウントで情報を随時、発信し、他大学へアピールしていきたいと思っています。

## まとめ

45

### まとめ

#### 学生だからこそできる

ボランティア活動の実施を今後  
も継続してやっていきたい。

46



ご清聴  
ありがとうございました

47

最後にまとめです。学生だからこそできるボランティア活動の実施を、今後も継続してやっていきたいと思っております。

これで発表終わります。ご清聴ありがとうございました。

### 講評

**吉中** ありがとうございました。私も大学に勤めておりますけれども、本当に大学生の皆さん、若い力がこういった防犯活動を含めた、安心安全な社会に向けた取り組みをしていらっしゃる、まずは心より敬意を表したいと思います。活動内容も本当に無理のない、学生さんらしい活動をされているなというふうに印象を受けました。

まず月1の清掃活動なんですけれども、本当に先ほども、にこみさんのところでも清掃活動の重要性って、これ、実は防犯活動と関係がないわけでは全然なくて、実は、この清掃活動をすることで潜在的な犯罪者を減らしているんだということがあります。もちろん、この地域をきれいにするということも重要な意味なんですけれども、それと同時に犯罪を減らしているということにつながっているんだということを、ぜひ認識していただいて、これからも、ぜひ活動を続けていっていただきたいなというふうに思います。

何よりも清掃活動というものが、恐らく皆さんしていただいている中で感じておられると思うんですけれども、街や公園とかきれいになるという、そこがきれいになるというだけではなくて、恐らく皆さん自身の心も、ちょっとかっこいい話で、きれいになっているんだろうなと思いました。やり遂げた後の気持ちのよさ、写真のところにもたくさんのごみ袋を並べて、やり遂げたなという感じ、それが非常に伝わってまいります。そういう達成感、やり遂げたなという気持ちがこの活動の、持続的な活動の活力にもなっているのかなと思います。

それから2番目の自転車施錠調査、これは本当に大学生さんらしい活動のフォーカスの在り方といえますか。少年非行などもそうなんですけれども、若い世代で、ちょくちょくよく起きているのが自転車窃盗ということなんです。ここに焦点を合わせていただいて、まず調査をして、啓発活動、防犯意識の向上の活動をやるというのも、すごく地道な活動ですけれども、これも大切な活動だなと改めて思い

ました。一定の未施錠率というものを減少に導いていただいているということで、それを励みに、今後  
も取り組んでいていただきたいなと思います。

いろんな課題もあると思いますけれども、こういう活動というのは、自転車を盗まれる、取られると  
いう被害者を生まないということと同時に、鍵をしてないから取ってしまうという。そういう意味では、  
犯罪者を作らない社会を生んでいるという二重の意味でも、これ非常に意味のあることなんで、ついつ  
い、掛かってないから取ってしまったというようなことを生まないという意味でも、すごく重要だと思  
います。

それから3つ目のサイバー犯罪に関しては、これは特に若い皆さん、若い世代の皆さんから、得意あ  
り、さまざまなSNS等を通じて活動ができるという強み、若い皆さんの強みだと思いますので、これも  
ぜひ強力に少し啓発されたらと思います。お話の中でもありましたように、これは先ほどの清掃活動の  
話ではないんですけれども、インターネットの世界とあって、下手に被害者にもなり得るし、それから、  
特に若い方が、つい知らないうちに加害者になってしまうということもあります。そういったことに関  
しても、本当は自分、そういうつもりじゃなかったんだけど、ついそういう誘いに乗ってしまったとい  
うこともあると思いますので、そういったことも含めて、若い世代の皆さんに啓発していただく、い  
うことが特に重要ななと思います。

いろいろ課題もいっていただいている、4-Rings というもので、私なんかの世代ですと、フォーリー  
ブスといっても分からなくて、分からないですね。後で、どなたか調べたらいいと思いますが。フォー  
リーブスじゃなくて4-Rings で、その4-Rings というのは4つの大学の輪ですか、これをつないでいる  
ということで、すごくいいお名前です。なので、せっかくなので、今、コロナということで松山大学の  
皆さんだけになってしまっているんですけども、1-Ring じゃなくて4-Rings にしていただくように。愛  
媛大学の方は隣ですし、まずは、2-Rings でもいいです。それから3-Rings、4-Rings って形で、ぜひ  
また力を合わせてやっていただきたいなというふうに思います。

今日のお話の中でもありましたけど、みんなの力を結集するということであり、1人が100歩歩むよ  
りも、100人が1歩歩けば同じです。それだけの人の力っていうのは大きいんだということ。それに  
しても松山大学の皆さんだけで258名いるわけですから、これは頼もしいなと思います。本当に皆さん、  
素晴らしい活動をされているということなので、今後もぜひ、この火をともし続けていただきたいです。  
活動を続けていていただきたいなと思います。どうも、今日はありがとうございます。